

災害にそなえて

地震や台風などの災害への事前の備えや
災害発生時の注意点などについてご紹介します。



災害のときは・・・(地震や台風・水害など)

飛びやすいものを 固定する

トタンや看板、テレビアンテナ、ビニールハウスなどは台風発生時に飛ばされやすく、これらが電線などに引っかかると停電が発生することがあります。風が強くなる前に固定するなど、早めの対策をお願いします。



家電製品のスイッチを切り プラグを抜く

地震発生時や停電時は家電製品のスイッチを切り、プラグを抜いてください。特にアイロンやヘアドライヤー、電気ストーブなどの発熱する機器は、地震で転倒し、燃えやすいものと接触したり、電気が復旧した際、予期せぬタイミングで作動することで火災につながる可能性があります。(「通電火災」と言います)



避難の時は ブレーカーを切る

避難時など、災害時に家を空ける際にはブレーカーを切りましょう。家電製品が地震や水害で破損したり、転倒して燃えやすいものに触れている状態で通電すると、火災につながる可能性があります。



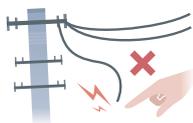
浸水した家電製品は 使わない

破損したり水に浸かった機器の使用は漏電や火災につながるおそれがあります。電気店などに点検してもらい、安全を確認したうえで使用しましょう。



切れた電線に 近づかない

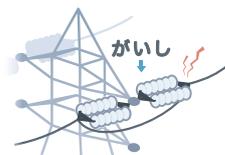
切れたり垂れ下がっている電線や倒れた電柱などには近づかないでください。感電のおそれがあり危険です。太陽光発電設備(太陽光パネルなど)についても、注意が必要です。太陽光発電設備は、破損したり水に浸かっている場合でも、太陽光があたり続けている間は発電を続けていますので、感電を防止するためにも、むやみに近づかないようにしましょう。



鉄塔から 音がすることがあります

送電鉄塔から「ジージー」といった音や小さな火花が発生する場合があります。

これは、大気中の塵、埃、塩分などが鉄塔と電線を接続している「がいし*」に付着し、霧雨や夜露などで湿気を帯びた時に「がいし」表面が放電し、その際に発生する音です。そのため、特に台風通過後によく見られる現象です。なお、ほとんどの場合、通常の降雨により、がいし表面の塩分や埃が洗われて、音は解消されます。また、この現象は、お客さまの安全上および電気をお送りするうえでの支障はありませんので、ご安心ください。



* がいしとは、磁器製の絶縁物です。電気が電線から鉄塔に流れないようにするためのもので、これを複数個連結して取付けてあります。

※ 東京電力パワーグリッドの許諾のもと、同社ホームページから引用





非常時のお役立ちグッズ

非常持ち出し品の準備

避難などに備え、非常時に持ち出すべきものをあらかじめリュックサックに詰めておき、いつでもすぐに持ち出せるようにしておきましょう。

非常用持ち出し品の内容例

- ・ 飲料水、食料品（カップめん、缶詰、ビスケット、チョコレートなど）
- ・ 貴重品（預金通帳、印鑑、現金、健康保険証など）
- ・ 救急用品（ばんそうこう、包帯、消毒液、常備薬など）
- ・ ヘルメット、防災ずきん、マスク、軍手
- ・ 懐中電灯、携帯ラジオ、予備電池、携帯電話の充電器、モバイルバッテリー
- ・ 衣類、下着、毛布、タオル
- ・ 洗面用具、使い捨てカイロ、ウェットティッシュ、携帯トイレ

※ 乳児のいるご家庭は、ミルク・紙おむつ・ほ乳びんなども用意しておきましょう。



スマートフォンの活用

スマートフォンに気象警報や自治体からの避難情報などをまとめて受け取ることのできる各種「防災アプリ」や、各電力会社（送配電事業者）の「停電情報アプリ」をあらかじめダウンロードしておく、災害時の情報収集に役立ちます。

防災ブックなどを電子書籍の形でスマートフォンにダウンロードしておくことも有効です。

また、停電に備えてモバイルバッテリーのご準備もお忘れなく。

ちなみに、停電時でも携帯基地局がバッテリーで稼働し、しばらくは通信できる可能性が高いですが、長時間の停電の場合バッテリーが切れるので、家族の安否確認など、通信機能を使うものは早めに行っておきましょう。

※ 出典元：ウェブサイト「Concent」 災害の専門家に聞く！停電時にもあわてない「電気の備え」とスマートフォンの活用（高荷智也 ソナエルワークス代表 | 備え・防災アドバイザー）https://www.concent-f.jp/energy/column_15



災害時のエコキュートタンク水の活用

エコキュートなどの電気給湯機は、非常用取水栓からタンクの水を取り出し、断水時の生活用水などとして利用することができるタイプがあります。（飲用は避けてください）

操作方法は取扱説明書などでご確認ください。



停電時の太陽光発電設備の利用

自宅の屋根などに設置されている太陽光発電設備に「自立運転機能」がついている場合には、停電時にも電気を使うことができます。

感電の危険がないか、十分に確認してから使用してください。



停電時の電気自動車の利用

災害時に電気が使えなくなったとき、みなさんがお持ちのハイブリッド自動車や電気自動車などの「電動車」が、非常用電源になることをご存じですか？

もしもの時に備えて、非常用電源としての使い方をあらかじめ把握しておきましょう。

